



総合企画部統計課

村田 紘章

平成18年度入庁

## Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。

人口・賃金・家計・電力・犯罪等の各種統計の最新調査結果を毎月総合的に編集した「ちばの統計」や、各分野にわたる統計資料を都道府県別・市町村別に収集し、順位付けをして地域特性の把握を分かりやすくまとめた「指標で知る千葉県」などの刊行物を作成する業務を担当しています。

## Q 2 千葉県庁の仕事の魅力や、千葉県庁で働いて良かったと思うことなどを教えてください。

千葉県庁の仕事の魅力は、観光・農林水産・教育など、様々な分野で千葉県の発展に貢献できる所です。また、これらの業務を通じて幅広い知識を身につけることができます。

私は異動したのは1回だけですが、周りの職員は数年で異動するため、人それぞれの考え方や仕事の進め方に触れて刺激を受けています。

また、現在の仕事は上司・同僚と掲載内容を議論した刊行物が形になって残り、様々な千葉県のデータを広く伝えることが出来るやりがいのある仕事です。

## Q 3 障害への配慮を含め職場環境について教えてください。

私は聴覚障害等級2級で、補聴器をつければ音は入りますが、言語としては認識できません。最初に障害の特性を周りに説明したあと、筆談やメール・手話等でコミュニケーションを取って仕事を進めるようにしています。

また、外部での研修や会議に参加する際には手話通訳又は要約筆記をお願いしています。

同僚には電話対応などで助けてもらうことが多いため、私も同僚の仕事で出来ることは手伝い、お互いに協力し合いながら楽しく仕事に取り組んでいます。

## Q 4 千葉県職員として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

障害の特性は人それぞれ違うので、自分にとってどのような支援が最適か、上司や同僚に伝えるなど、積極的にコミュニケーションを図り、常に県民のことを考えながら行動することが大切だと思います。

また、どんな業務に対しても、学ぶ姿勢と謙虚さをもちながら仕事に取り組むように心がけています。

## Q 5 今後どのように働いていきたいですか。目標や取り組んでみたい仕事など教えてください。

これまで従事したことのない業務にも積極的に取り組み、上司・同僚とコミュニケーションを大切にしながら経験や知識を積み重ねていきたいです。

また、手話言語条例が施行されており、手話をより身近なものにするために、千葉県職員も窓口対応等で聴覚障害者と簡単な手話を使って対応できるよう、普及啓発にも取り組んでいければと思います。

## Q 6 受験生へ一言

自然豊かで住みやすい千葉県の発展のために、みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



### 異動経歴

H18年採用	君津健康福祉センター
H24年	総合企画部統計課